

『豊かな実を結ぶ秘訣』 ヨハネの福音書 15章 1～8節 2017.1.15(聖日礼拝説教より)

『私は、いのちと死、祝福とのろいを、あなたの前に置く。あなたはいのちを選びなさい。あなたもあなたの子孫も生き、あなたの神、主を愛し、御声に聞き従い、主にすがらためだ。確かに主はあなたのいのち…』申命記 30:19～20

❶ **神のなさること(神の役割)**…神様の『手入れ』は3段階(ローマ 8:30)。

①第一は義認！『もしわたしが洗わなければ、あなたはわたしと何の関係もない(13:8)』。十字架直前、主は弟子たちの足を洗われた。それは「模範」以上に罪の剪定。十字架により「無罪」とされた者はすでに全身が聖い。

②しかし主は「足は洗い続けよ」言われた。これが『聖め』！世の生活は、日々罪がまとわりつき、日々誘惑にさらされる！日々汚れを洗われ、日々誘惑に勝利してこそ豊かに実を結べる！罪の牢獄から釈放された私たちが「再犯」しないために神は御言葉を与える(15:3)！

③そして栄化(聖化の完成)！永遠の滅びから永遠の命への道は、全て神が備えられる！

❷ **人がすること(人の役割)**…『あなたがたは、わたしが話した言葉によって、もうきよい(15:3)』とあるが、御言葉は人を自動的に救ったり聖めたりしない！私たちが御言葉に聴き従った時、初めて変えられる！信仰とは正しいものを選び取ること！『神のみこころは何か、何が善で神に喜ばれ、完全であるのかをわきまえ知るために心の一新によって自分を変えられ(ロマ 12:2)』の、『心の一新』とは「考え方を日々新たにすること。『変えられよ』は、「変態(「芋虫が蝶に」のように)」のこと。神様が何を喜ばれ、何を嫌われるのかを知って従う時の変化は劇的！何よりも、願望が変化する！礼拝が喜びになる！◆ぶどうの木は手入れを拒否しないが、人は違う！神の言葉を聞かず認めず、時に文句や不満すら言う。それは「自由意志」があるから！しかし自由意志は本当に「自由」なのか？人は『この世(の神)』の支配を受けており、自然にまかせると必ず神から離れる！神はカインに警告した！『罪が戸口で待ち伏せして、あなたを恋い慕っている。だが、あなたは、それを治めるべきである(創世記 4:7)』。豊かな結実には、罪を警戒して離れる決心が必要！『わたしを通してでなければ、だれひとり父のみもとに来ることはない(ヨハネ 14:6)』との御声を聴き、主を自分の救い主として選ぶのは、あなたの役割！『私は、いのちと死、祝福とのろいを、あなたの前に置く。あなたはいのちを選びなさい(申命記 30:19)』と主は言われる！今、「日々、私にまとわりつく世の汚れを、日々洗い聖めてください！」と祈りたい！

★今週、あなたのなすべき決断は何？あなたの捨てるべきものは何？誰かに主の御愛を伝え、誰かの心を暖め、誰かの心を癒すことができるために、あなたのすべき(出来る)ことは何だろう？